

石巻健育会病院

菊池美咲(病棟師長)

功 績 2014年から看護部の記録委員長として、看護記録監査の仕組みを構築し、電子カルテもスタッフの目線でカスタマイズ。カンファレンスにはジョンセンの4分割法を取り入れるなど、看護記録の質の向上に大きく貢献した。特に倫理的課題への取り組みを看護記録内で示したことが評価され、病院機能評価では「S」判定をいただいた。ここ8年かけて看護記録の質向上に取り組み、外部からも高い評価をいただいた功績。

推 薦 者 庄司正枝

推 薦 理 由 当院の看護記録の精度がここ数年で向上した背景には、菊池師長の情報収集力、看護記録と向き合う姿勢、粘り強く伝える力、スピード感のある行動があったからだと思います。その評価として、病院機能評価でS判定をいただきました。これは病院理念である「確かな医療と質の高いケア」につながる功績であるため、理事長賞に推薦致します。

内 容

菊池師長には、2014年から看護部の記録委員長を務めていただいています。

委員長を引き受けてくれた時から、記録の統一に向けて文章の書き方をレクチャーするなど、スタッフへの発信を続けてくれました。

特に、当時十分とはいえなかった看護記録監査にいち早く着手してくれました。監査には形式的監査と質的監査があり、監査内容のチェック表作成から関わっていただきました。さらにどの頻度で誰が行うかなどのしくみも作っていただきました。そして、監査結果を現場にフィードバックしていただいたおかげで、記録の質が顕著に向上し、監査結果は80～90%を維持できるようになりました。

また、2018年の電子カルテ導入時には、スタッフが書きやすく、電子カルテの中で看護展開ができるように構築してくれました。看護指示や計画だけでなく、医師指示まで手がけてくれて医師と看護の連携が電子カルテの中でもわかりやすい作りになりました。また、記録委員長として、毎月「電子カルテ& INFORMATION」というスタッフ向けの情報紙を発行し、スタッフの疑問にも応じてくれました。

なにより、病院機能評価の審査をずっと意識し、そこに向けた周到な準備をしてくれました。看護部で苦手としていた倫理的課題への対応について、ジョンセンの臨床倫理4分割法を用いたカンファレンスを取り入れ、4分割法についての説明やどのように情報収集するかまで丁寧にスタッフに説明してくれました。ACPを推進する当院にはまさに適したカンファレンスであったと言えます。

その甲斐あって、倫理的課題への対応項目が病院機能評価で、「S」判定をいただきました。

看護記録の質が上がり、第三者評価においても高評価だったのは、菊池師長の長年の取り組みのお陰だと言えます。